

【概要】

第2学年における臨床実習では、机上および基礎実習を通して習得した専門的知識・技能を歯科クリニックおよび北海道医療大学病院にて応用しながら、歯科衛生士業務を実践レベルで理解した。

第3学年における臨床実習では、総合病院の口腔外科、開業歯科医院において歯科衛生士が業務を遂行する上で必要な諸能力についての理解を深める。

【学修目標】

- ・専門職業人としての姿勢、態度を習得する。
- ・対人関係、人間関係成立（コミュニケーション）の能力を習得する。
- ・臨床における歯科衛生士の実践的知識や臨床技術を習得する。
- ・チーム歯科医療を通して多職種との連携を理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	【実習施設】	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道医療大学病院（一般歯科・口腔外科・小児歯科・矯正歯科） ・開業歯科医院または病院 ・北海道医療大学 歯科クリニック 	
1	オリエンテーション	2年次の臨床実習 を振り返り各自の学習内容を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・実習班でのグループワーク ・引継ぎ書の記入 	岡橋 智恵
2	オリエンテーション	臨床実習 の概要、目的を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・実習期間 ・実習場所 ・ローテーション ・定期券の発行について ・実習中の注意事項 	岡橋 智恵
3	オリエンテーション	実習記録、リンクノートの記載について確認する。 自己評価表の記入方法について確認する。 臨床実習 の評価方法について理解する。	岡橋 智恵
4	オリエンテーション	各実習機関で行われる実習内容について理解する。 各実習機関での諸注意について理解する。	岡橋 智恵
5	多職種連携実習	実習 <ul style="list-style-type: none"> 多職種連携する医療職が説明できる。 介護サービスについて説明できる。 患者の口腔内、検査結果を確認し問題点を考えることができる。 ・口腔内診査ができる。 ・歯式を正確に記載できる。 ・ポケットプロービングができる。 多職種連携するために歯科が提供すべき情報、聞き取るべき情報を考える。	川西 克弥 岡橋 智恵 山形 摩紗

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

- ・口頭試問

- ・実習態度
- ・実習記録、課題レポート

以上各実習先の評価と実習終了後のレポート提出を総合し判定する

【教科書】

専門科目関連教本

【参考書】

授業計画（シラバス）

臨床実習帳

臨床実習自己評価表

臨床実習プリント等

新人歯科衛生士・デンタルスタッフ ポケットマニュアル

【備考】

新型コロナウイルス感染拡大状況により変更になることがあります。

【学修の準備】

- ・実習施設への交通機関を把握しておく。

[授業時間外学習]

予習：30分

- ・シラバスにて各臨床実習先での実習内容を確認する。
- ・診療科における術式、使用器具・器材について名称・用途を確認する。
- ・臨床実習要領プリントを熟読する。

復習：60分

- ・各診療科における使用器具・器材の確認をする。
- ・各診療における術式の確認をする。

【実習施設】

I．北海道医療大学病院

．開業歯科医院および病院

．北海道医療大学歯科クリニック

【実務経験】

岡橋智恵（歯科衛生士）

【実務経験を活かした教育内容】

実務経験を活かして、臨床実習の心構え、記録の方法、自己評価の方法を講義する。